

4K・8Kテレビ時代へ向かう デジタルメディア・産業・文化

～メディア融合を活かしより豊かで高度な文化創造・サービス提供を～

Resilience of Television

2013年8月6日

次世代放送推進フォーラム

元橋圭哉

2011.3.11

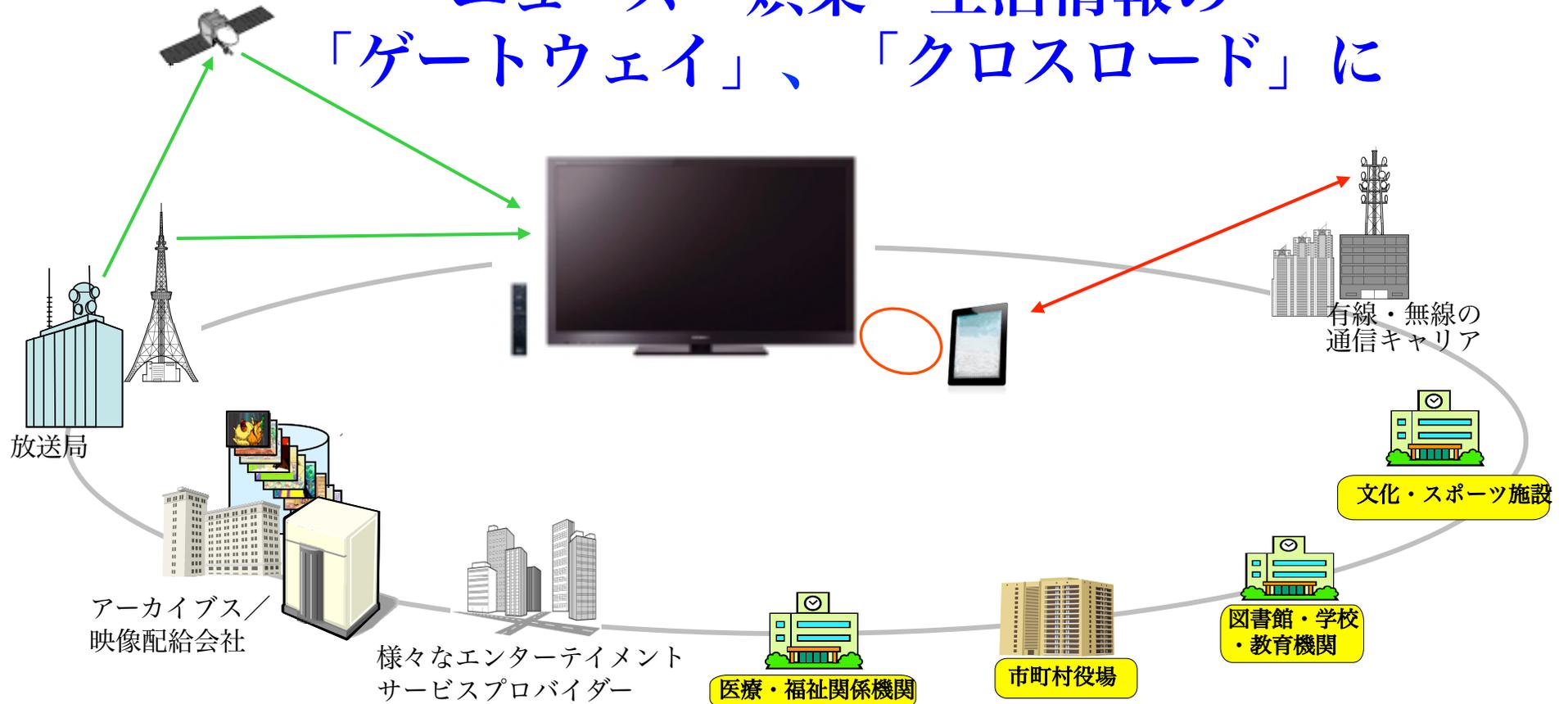
2011.7.24

2015

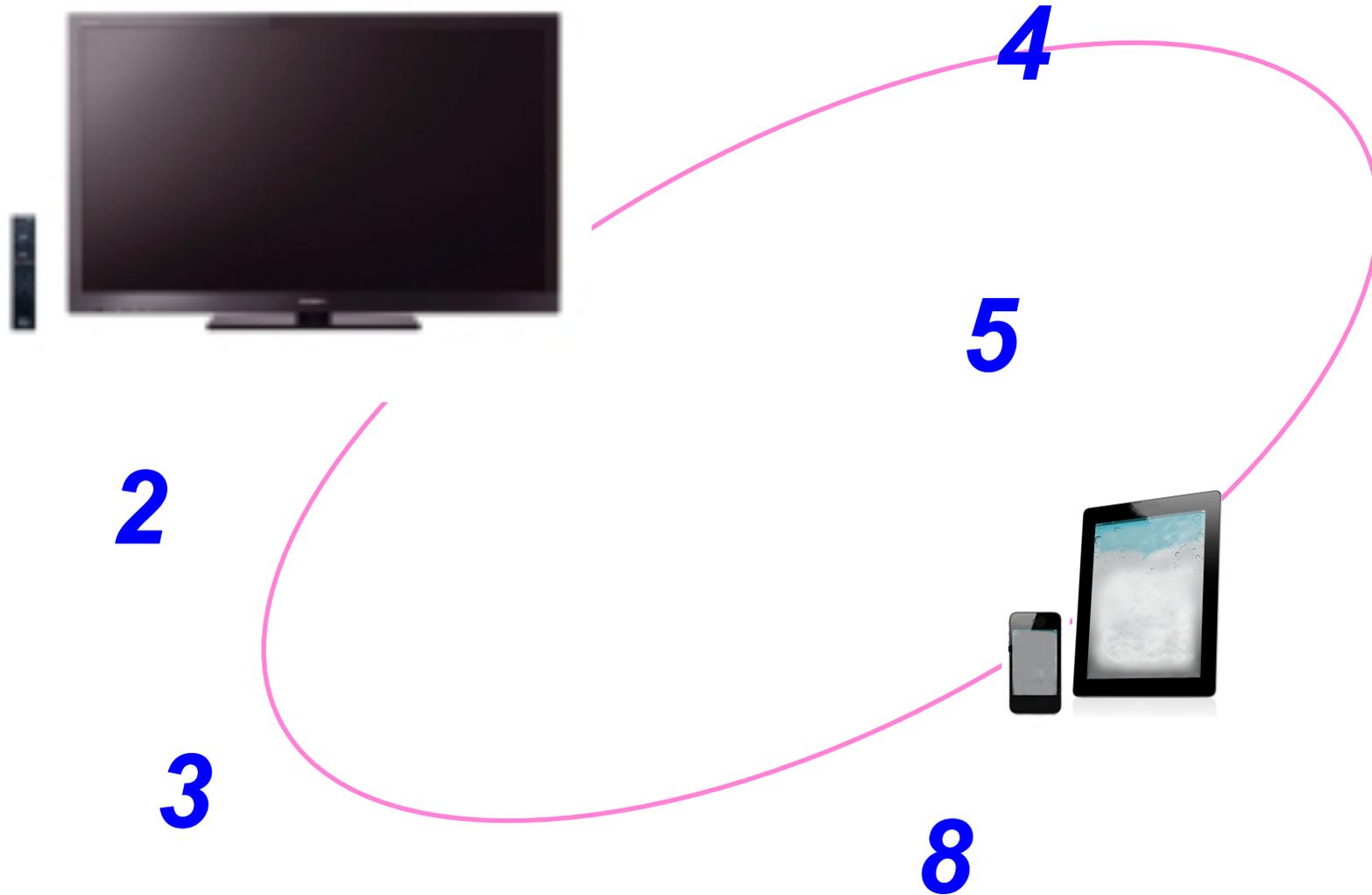
ネットサービス普及 20年
放送開始 90年
BSデジタル放送 15年

テレビとタブレット、スマートフォン

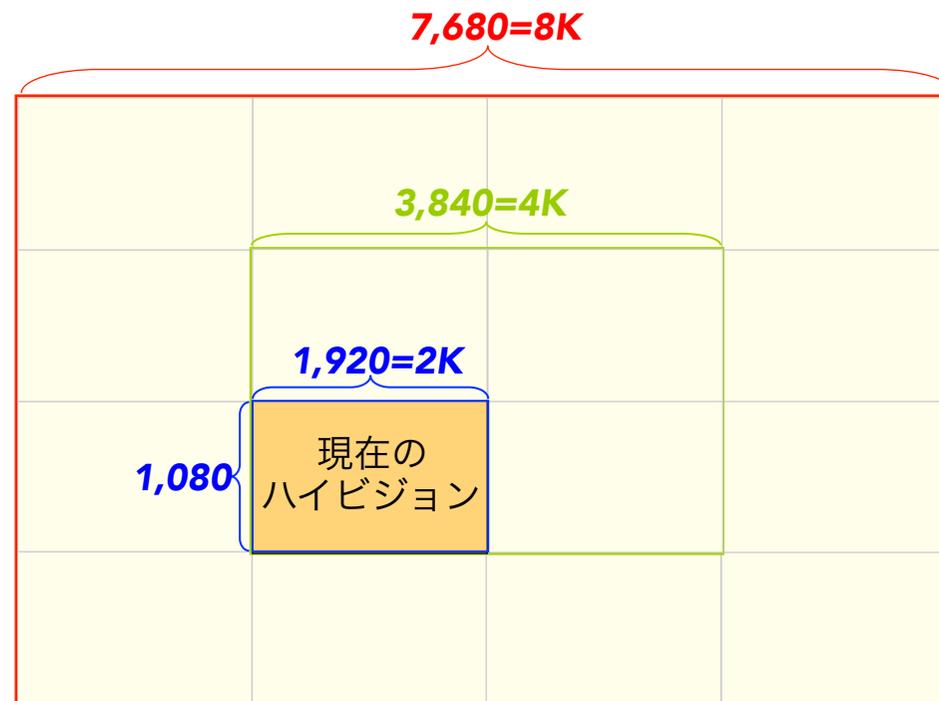
ニュース・娯楽・生活情報の
「ゲートウェイ」、「クロスロード」に



“放送”サービスのこれから



4K/8KTV



HTML5

the Hypertext Markup Language, 5th major revision



新しい
取材・制作ツール
演出・表現手法
伝送・提供手段

放送局のサービス高度化、高品質化に
願ってもないチャンス

HEVC

High Efficiency Video Coding

世界最先端の動画圧縮技術

現在のBS・地上デジタル放送の約4倍の圧縮が可能

高効率化とワンチップ化が不可欠

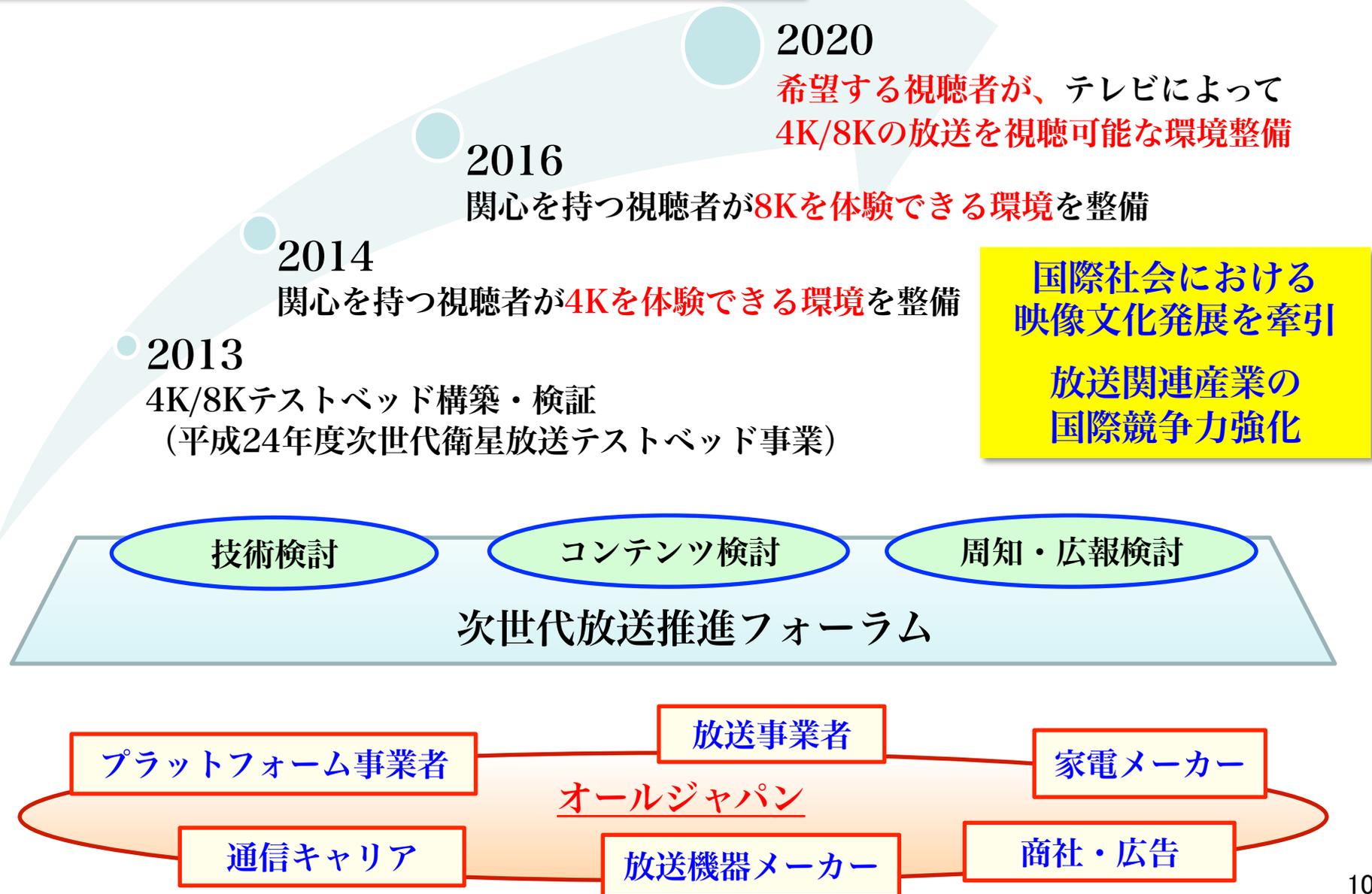
2014年

2016年

2020年

総務省検討会でのロードマップと本フォーラムの事業概要

スーパーハイビジョン (4K/8K) のロードマップ
総務省「放送サービスの高度化に関する検討会」



放送

常に技術発展の成果を活かし サービス高度化を図ってきた文化

- BBC、ESPNなど世界の主要な放送局、専門チャンネル、番組供給会社は急速に4KTV化を志向。
- 国際的な番組マーケットも従来の放送番組（リニアなHDTV番組）だけでは、特徴を出せなくなっている。
- 高画質化（4KTV）＋高機能化（HTML5による番組連携アプリ、コンテンツ）は海外番販でも「必要条件」になりつつある。

しかし、ホームエンターテイメントに留まらず…

多様な領域での活用・応用も期待

- 医療・福祉 (4K内視鏡、画像解析、遠隔医療)
- 防災・減災 (監視、制御ディスプレイ)
- 設計 (CAD、CAM、CG)
- 電子出版 (雑誌グラビアより高画質)
- 美術館・博物館の収蔵品の展示
- 教育 (4K・8K+タブレット)
- 壁面テレビ (建築・住宅産業)
- 会議、遠隔家族間のリアルコミュニケーション
- デジタルシネマ、ODS、パブリックビューイング
- テーマパーク
- サイネージ
- インスタレーション (双方向型アート)
- など

500年単位の変革

一般社団法人「次世代放送推進フォーラム」の概要

- 名称 一般社団法人 次世代放送推進フォーラム
Next generation Television and Broadcasting Promotion Forum
(略称：NexTV-F)
- 所在地 〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-43
- 設立 2013年5月
- 目的 **4K・8Kテレビ、スマートテレビ等の次世代放送サービスの早期実現。**
(そのための、技術仕様の検討・実証)
放送サービスの高度化、放送文化の向上。
放送・映像関連産業や家電、その他幅広い分野の**産業競争力の強化。**

NexTV-F

一般社団法人次世代放送推進フォーラム

設立時社員

KDDI株式会社

株式会社ジュピターテレコム

住友商事株式会社

ソフトバンクBB株式会社

株式会社テレビ朝日

株式会社電通

株式会社東北新社

日本電気株式会社

日本放送協会

富士通株式会社

株式会社WOWOW

シャープ株式会社

スカパーJSAT株式会社

ソニー株式会社

株式会社TBSテレビ

株式会社テレビ東京

株式会社東芝

日本テレビ放送網株式会社

日本電信電話株式会社

パナソニック株式会社

株式会社フジテレビジョン

(50音順・計21社)

課題

- 4K/8KTVの制作ノウハウの構築、早期のサービス展開
- ノンリニア型（ハイパーテキスト）コンテンツや番組連動アプリの制作ノウハウ、サードパーティとの戦略的連携
 - 世界の超高画質コンテンツ市場 & スマートテレビサービス市場の先駆者に
- デジタルの恩恵をいち早く視聴者に還元
 - “TV Everywhere”の実現
 - 技術的優位性を基軸に、サービス・文化・産業面でも、世界の中のプレゼンス強化を
 - 技術進化に即応できる法規制、業界慣習、ワークフロー
- （拡大）再生産が可能なコンテンツ流通モデル、ビジネスモデルの創成
 - 縦割りから横串へ
 - コンテンツ展開のグランドデザイン、ウィンドウ・コントロール